

# 政府もテレワークを推奨しています!

政府・災害中央防災会議は、2019年に相次いだ台風被害を教訓に「防災基本計画」を修正し、豪雨などが予想されるときは企業がテレワークなどの実施に努めることを明記しました。

内閣府「防災情報のページ」より

防災基本計画[令和2年5月29日中央防災会議決定]  
[http://www.bousai.go.jp/taisaku/keikaku/pdf/kihon\\_gaiyou.pdf](http://www.bousai.go.jp/taisaku/keikaku/pdf/kihon_gaiyou.pdf)

防災基本計画修正（令和2年5月）の概要	
■防災基本計画・・・災害対策基本法に基づき、中央防災会議が作成する計画で、災害の未然防止、被害の軽減及び災害復旧のための諸施策等の基本的な事項を定めるもの。	
<b>主な修正項目</b> <b>主に令和元年東日本台風に係る検証を踏まえた修正</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害リスクととるべき行動の理解促進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップ等の配布・閲覧時に居住地域の災害リスクやとるべき行動等を周知</li> <li>・避難に関する情報の意味（安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要がない等）の理解促進</li> </ul> </li> <li>○豪雨時等の事業者によるテレワーク、時差出勤、計画的休業等の適切な外出抑制の実施</li> <li>○河川・気象情報の提供の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害危険度が高まる地域等、早期警戒を呼び掛ける情報をわかりやすく提供</li> </ul> </li> <li>○災害廃棄物処理体制の整備           <ul style="list-style-type: none"> <li>・国、自治体、ボランティア等関係者の役割分担等を整理したマニュアルの作成、周知</li> </ul> </li> <li>○被災者生活・生業再建支援チームの開催のルール化</li> <li>○自然災害即応・連携チーム会議の開催           <ul style="list-style-type: none"> <li>・平常時から関係省庁間の情報交換・共有を実施</li> </ul> </li> </ul>	<b>主に令和元年房総半島台風に係る検証を踏まえた修正</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害に慣れていない自治体への支援の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣府調査チーム等国の職員の出向派遣</li> <li>・現場における関係機関調整のための連絡会議、調整会議、現地作業調整会議の開催</li> <li>・危機管理・防災責任者を対象とした研修の実施</li> </ul> </li> <li>○長期停電・通信障害への対応強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者における停電、通信障害発生時の被害状況把握、被災者への情報提供の体制整備</li> <li>・病院等重要施設の非常用電源確保の推進</li> <li>・重要施設の非常用電源設置状況等のリスト化等、電源車等の配備調整の円滑化</li> <li>・通信障害の状況等の関係機関への迅速な共有</li> </ul> </li> <li>○被災者への物資支援の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・物資調達・輸送調整等支援システムを活用した効率的な物資支援の推進</li> <li>・プッシュ型支援の標準的対象品目を一覧提示し、周知</li> </ul> </li> </ul>
<b>その他最近の施策の進展等を踏まえた修正</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○避難所における新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策の平時からの検討、実施</li> <li>○船舶の定員等による港湾道路の損壊防止のための防衛工設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○無人航空機を活用した情報収集</li> <li>○災害時外国人支援情報コーディネーターの育成</li> <li>○事業者による危険物流出事故の防止対策の推進</li> </ul>

政府の中央防災会議（会長・安倍晋三首相）は29日、2019年に相次いだ台風被害を教訓に、防災基本計画を修正し、豪雨などが予想されるときは企業がテレワークや時差出勤の実施に努めることを明記した。長期停電に備え、病院など人命に關わる施設では発生後72時間、非常用電源の確保を確保することも盛り込んだ。

修正後の基本計画では、各自治体がハザードマップなどを活用して住民に適切な避難を促すとともに、安全な場所に行き避難所に行く必要がなくなることを検討する。豪雨や暴風で危険が予想される場合、テレワークや時差出勤、計画的な

新型コロナウイルスの感染拡大も踏まえ、避難所に人が密集するのを避けるために必要に応じてホテルや旅館を避難先として活用することを検討するとしていた。

豪雨時はテレワークに病院は非常電源確保を

2020年5月30日 日本経済新聞より転載

ご相談・お問い合わせは営業担当者までどうぞお気軽にご相談ください。

災害対策 ・地震・火災・水害 ・パンデミック  
 働き方改革  
 BCP対策 (事業継続計画)

非常時でも、平時でも、活用できる!

いざというときも

# 業務を止めない

テレワーク導入のポイント

・豪雨時等の事業者によるテレワーク、時差出勤、計画的休業等の適切な外出抑制の実施

豪雨や暴風で危険が予想される場合、**企業はテレワークなどにより、従業員の不要不急の外出を避ける**よう対策を求められています。

2020年5月30日 日本経済新聞より転載

NTT東日本が全力サポート!



業務を  
継続する  
ために

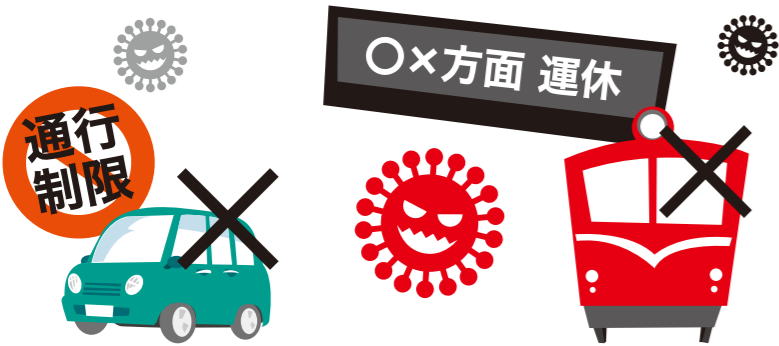
# テレワークが 有効です！

こんなとき



## 非常時に

パンデミックで  
非常事態宣言！



地震・火災・水害など



在宅勤務の切り札として

平時なら

## 労働基準法改正

時間外労働の上限は原則として

**月45時間かつ年360時間まで**

労使協定がある場合でも年720時間を上回することはできません

違反した企業や経営者に  
罰則が適用されます

さらに 社会的な信頼が失墜し、  
経営に影響を与えるリスクも！

2020年4月  
から  
中小企業も  
対象に！



働き方改革対策として

テレワークを導入するには  
どうしたらいいの？

機器やシステムを  
どうしたらよいか  
わからない

情報  
セキュリティ  
が心配

導入に時間  
がかかる？

導入から  
サポートまで  
おまかせ  
ください！

簡単に素早く  
導入できる  
テレワークの  
ポイントをご紹介します！

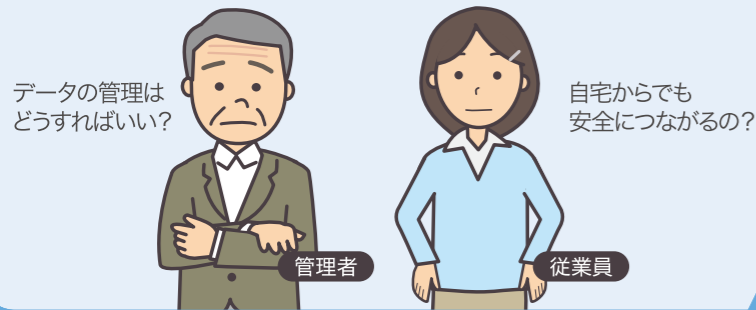


自宅や外出先からでも  
テレワークで  
仕事ができる!

# テレワーク おすすめ3アイテム

テレワークしたいけど・・・

安全に自宅や外出先からも  
会社のデータを利用したい



## 1 VPNルータ ⊕ サーバ/NAS<sup>\*1</sup>

安全な通信環境でデータを共有!



\*1 NASとは、ご家庭やオフィス内のネットワークに接続して 複数台のパソコンからアクセスし、データ保存・共有などが可能なハードディスクです。

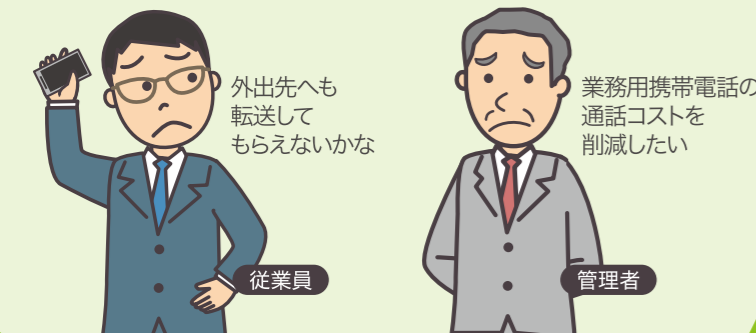
**安全**  
セキュアで安心なネットワーク環境の  
実現をサポート!

**便利**  
データを一元的に  
保存して共有

在宅勤務による  
無防備な  
ネット回線からでも  
しっかり守れる!

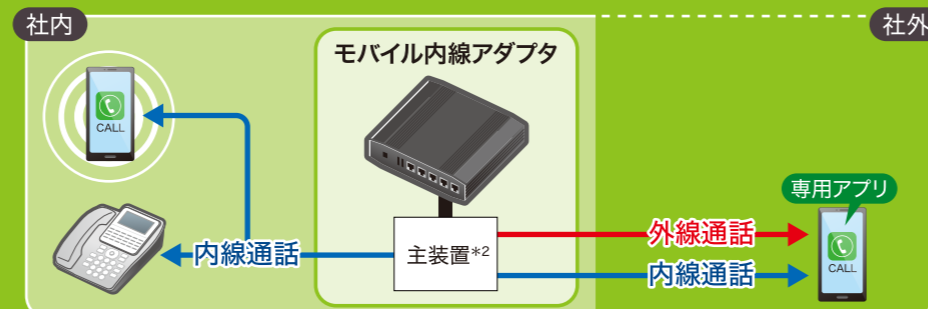


外出先から会社や  
取引先へ連絡したい



## 2 モバイル内線アダプタ

社員のスマートフォンを内線&外線電話に!



\*2 NTT東日本 SmartNetcommunity αN1/αA1のご利用 が必要です。

電話の取次ぎも  
スムーズ  
外出中の社員へ  
内線で転送できます

社員の個人情報を守れる  
会社の電話番号で  
電話をかけられます

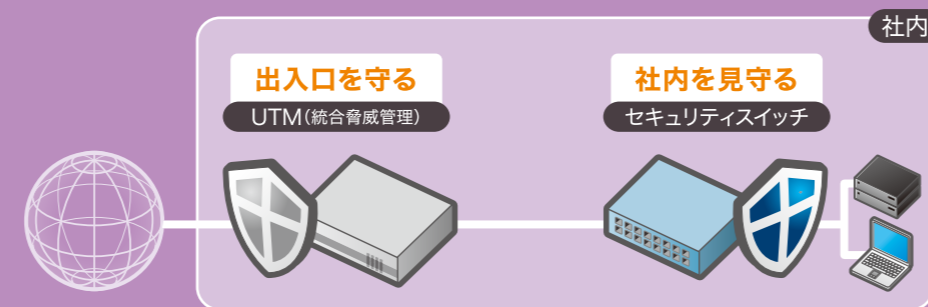


テレワーク実施のため  
社内環境を安全にしたい



## 3 UTM ⊕ セキュリティスイッチ

多層防御でサイバー被害対策を!



※本製品はネットワーク上の脅威に対してそのリスクを低減させるための装置です。導入することにより、その脅威を完全に排除することを保証するものではありません。

インターネットの  
出入口対策  
UTM(統合脅威管理)

不審な端末の  
接続防止 ⊕ ウイルス感染後の  
二次被害防止  
セキュリティスイッチ

ダブル  
Wで守る

テレワークにおすすめ!  
データレスPC  
データはクラウドで管理し、  
端末に残りません  
パソコンの  
紛失・盗難から  
大切なデータを守る!

# Telework System

## テレワークシステムイメージ

### 1 VPNルータ

高速で高セキュリティなVPN環境を、簡単&スピーディに実現

- インターネット接続環境があれば、ノートパソコンやモバイル端末からオフィスの社内ネットワークへ安全に接続
- 社内ネットワークに接続するだけの簡単設置
- ご利用形態に合わせてスタンドアロン型・クラウドマネージド型をご用意

### 2 サーバ/NAS

データを一元管理して社員に情報共有することでテレワークにも対応

- ビジネスチャットを活用して、スマートフォンからリアルタイムの勤怠管理可能(サーバの一部機種)
- テレワークへ向けたセキュリティ機能も充実(サーバの一部機種)
  - パソコン操作記録やファイルへのアクセスログを記録可能
  - USBメモリなどの利用制限

### 3 UTM(統合脅威管理)

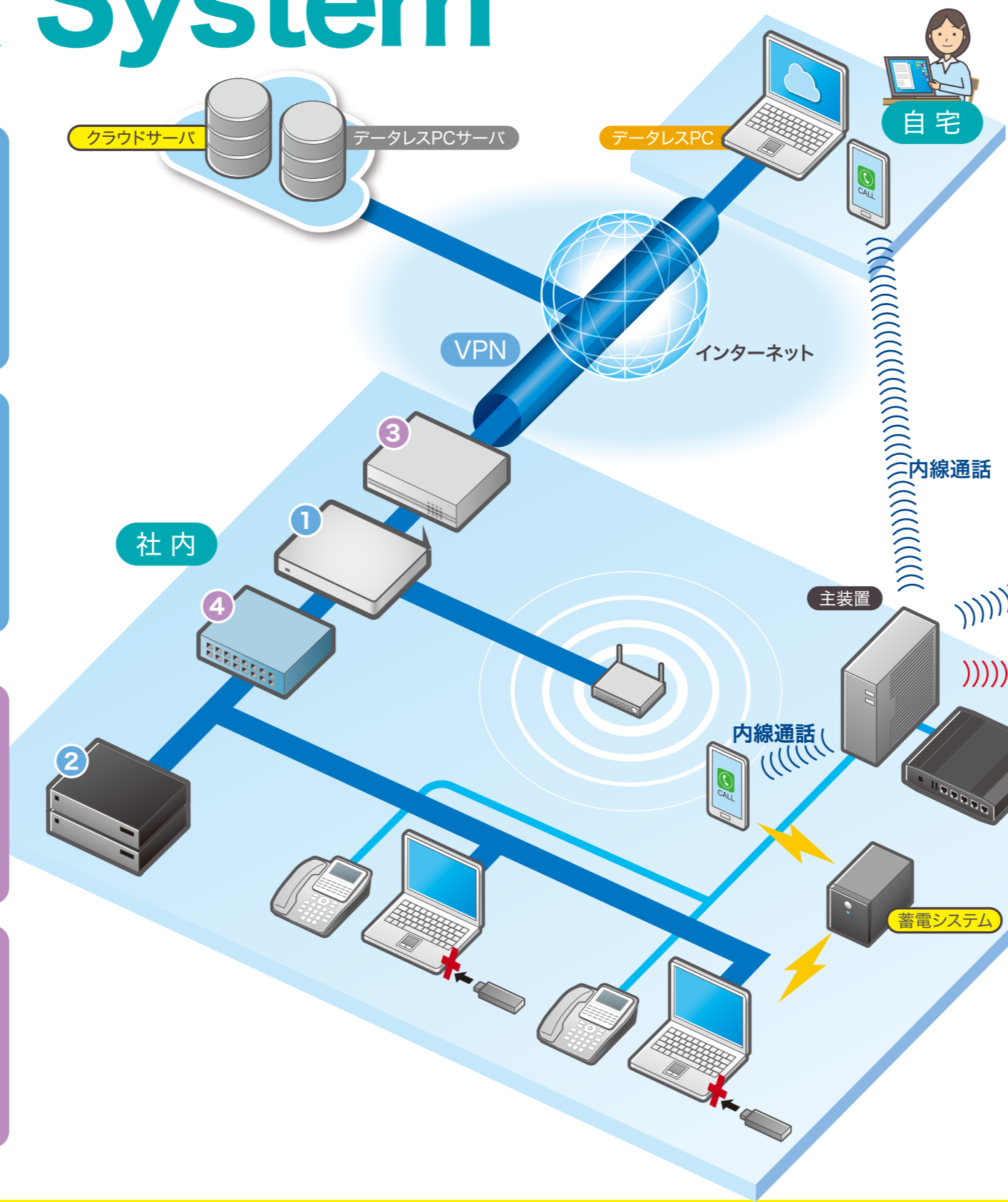
各種情報セキュリティ対策を専用機器1台で提供し、さまざまな脅威に対応

- インターネット上の悪意ある攻撃から社内ネットワークを保護
  - 有害Webサイトへのアクセス、情報漏えいなどをブロック
- 社内からの情報漏えいリスクを低減
  - 不正なアクセス、ウイルスの侵入、スパイウェアなどをブロック

### 4 セキュリティスイッチ

不審な端末(未登録端末など)の社内ネットワークへの接続を制限。ネットワーク内の有害パケットを検知して、被害の拡散を抑制

- 不正な接続を検知すると通信を遮断し、メールで通知
- 外部から持ち込まれたパソコン、Wi-Fiアクセスポイント装置、スマートフォンやタブレットなどの接続を制限



### データレスPC

クラウド上のストレージにデータを自動保存する「データレス機能」付きのレンタルパソコンサービス

- インターネット環境があれば社内でも外出先でも利用可能
- ウイルス対策ソフトのインストール有無を選択可能

### 5 モバイル内線アダプタ

NTT東日本のビジネスフォンと連携してスマートフォンを内線電話に

- 社内、社外を問わず、内線番号・会社の電話番号で受発信
- オフィスで受けた電話を、外出先のスマートフォンにそのまま転送
- 取引先への通話料は主装置側負担

**【モバイル内線アダプタについて】**◎利用可能なスマートフォンはAndroidおよびiOSを搭載した端末です。スマートフォンの機種、およびOSのバージョンによっては機能の一部もしくは全部が正常に使用できない場合があります。◎利用範囲はご利用になるスマートフォンの4G/LTEサービスエリア内に限られ、接続環境によってはご利用できない場合があります。◎4G/LTEキャリア接続とWi-Fi接続切り替え時に、意図しない通話不通や切断が発生する場合があります。◎GoogleやAppleが提供する技術を利用しているため、当社が意図せずサービスが終了する可能性があります。◎タブレット端末などやBluetoothを利用した通話は動作保証いたしかねます。◎ご利用には**モバイル内線アダプタの設置のほか、別途内線ユニットの設置が必要です。**◎ご利用には事前にスマートフォンへ専用アプリケーションのインストールが必要です。◎モバイル内線アダプタを経由して緊急通話番号(110、118、119)への発信はできません。

## BCP対策を見直してさらに安心!

### 蓄電システム

地震や風水害などによる停電に備え、非常用の電力を確保!パソコンなどの最低限の稼働やスマートフォンなどの充電に活用

- 家電製品などを最低限稼働できる
- 軽量コンパクトで場所をとらない

### クラウドサーバ

安全なクラウド上のサーバでデータをバックアップ!W(ダブル)で保管することで、万が一の場合でも業務を継続

- 認証システムで安全に管理できる
- 自動でデータがバックアップされる

